

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年09月03日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年08月14日
明治大学卒業予定年月	2025年03月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley((現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024年05月～2024年08月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 1月上旬～5月 2 学期: 8月中旬～12月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	約 45,000
創立年	1868年

## 留学費用

留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	6,847	1,029,964 円	10 Units
宿舍費	6,513	949,968 円	・Application Fee \$53(\$50+\$3) ・Full Summer Payment \$6,460
食費	100	14,227 円	外食をほぼしてない
図書費	-	-円	特に教科書の購入 X
学用品費	-	-円	-
携帯・インターネット費	75	11,031 円	Mint Mobile(3ヶ月、データ無制限)
現地交通費	50	7,114 円	大学周りのバスは無料+徒歩で移動可能だったため、バス、Uber(空港やサンフランシスコなどに行く際)、Amtrak などの費用( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	-	-円	
被服費	100	14,227 円	Cal Student Store や Ross で購入した洋服の費用
医療費	-	-円	具合があるときは持って行った薬で耐えたので、医療費は発生して以内
保険費	-	28,265 円	形態: 明治大学指定の保険(3ヶ月)
渡航旅費	698	102,100 円	NRT から ICN 経由で SFO/LAX から ICN の費用
ビザ申請費	350	49,795 円	・SEVIS 費用 \$350 ・ビザ料金 \$185
雑費	-	-円	
その他	1,400	199,178 円	7 回の旅行代(宿泊費、交通費などを含めた費用)
その他	-	-円	
合計	16,133	2,405,869 円	渡米前の費用は「\$1=146」、現地での費用は「\$1=140」で算出

## 渡航関連

### 渡航経路

往路 出発地:NRT 目的地:SFO 経由地:ICN

復路 出発地:LAX 目的地:ICN 経由地:

### 渡航費用

① 往復チケットを購入した場合  
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合  
往路 航空会社:Korean Air 料金:47,330

復路 航空会社:Korean Air 料金:52,880 ∴合計:102,100

### 航空券購入方法

旅行代理店(店名: )

インターネット(サイト名:Korean Air)

その他( )

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:International House=ihouse)     アパート     ホームステイ

2) 部屋の形態

個室     相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

バス     トイレ     キッチン( 自炊可     自炊不可)

4) 住居を探した方法:

留学報告書に ihouse の良さがあり、昨年行ってきた友達のおすすめがあった。

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

アイハウスに住むことをためらった理由は、主に費用と食事に関する懸念からである。まず、費用は昨年と比較して1,000ドル以上も上がっており、かなりの負担となった。また、食事に関しても、口に合わないのではないかと心配があった。それにもかかわらず、アイハウスを選んだ理由は2つある。一つは、世界各国から来た友人たちと交流することができる点である。もう一つは、日本でも一人暮らしをしているため、ダブルルームを選ぶことに躊躇があったことだ。外国人たちと英語での会話がずっと疲れることが多いが、部屋に戻れば日本語で話しながら意志疎通を図ることができたのは大きな利点である。

特に良かった点は、毎日新しい友人たちに会い、話すことができたことである。アイハウス内で最も交流が活発な場所はダイニングホールであり、特に昼食と夕食の時間帯に人々が集まる。夕食後には1階のグレートホールで勉強する人も多く、その際にさらに親しくなる機会があった。個人的に最も好きな場所は7階のラウンジである。ここからはパークレーの街並みからゴールドデンゲートブリッジまで一望でき、昼夜を問わず美しい景色を楽しむことができた。さらに、アイハウス内ではRAが企画するイベントが開催されることがある。これらのイベントに参加することで友人を作ることができる場合が多い。私自身は、週末を含め旅行に出かけることが多く、イベントには4回ほどしか参加しなかったが、それでも新たな友人を得る機会があった。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

治安がよくなかったため、お昼は一人でも外出(学校周りだけ)をしたが、夜は2人位上で外出をした。しかし、21 時以降に外出することは避けた。最後の日には寮のまわりで大きい銃撃

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮内: WIFI やデータを利用

学校内: eduroam(大学の WIFI)を利用

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを利用した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

(1) 持参品: 衣服、薬、シャンプー、扇風機、財布、充電器、消臭剤

(2) 後悔品: 扇風機(部屋の向きによるが、1週間ぐらいすごく暑かったためあったらいい。しかし、多いし、重たいので、現地で買った方が良かったと思った)、衣服(旅行する時、着るために結構持っていたが、量が多くて荷物になった)

(3) おすすめ: スポーツウェア(無料でジムを利用できるため)、水着(現地で買うとサイズ大きいし、値段が高いため)、温かい上着(サンフランシスコは 13 度までにもなるし、パークレーの日陰に必要)、アウトレット(部屋にコンセントが少ないため、絶対必要)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

クレジットカードで2月13日に支払った。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business and Sustainability	ビジネスとサステナビリティ
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	2024 年 5 月 20 日～6 月 28 日
単位数	2 単位
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Omar Romero-Hernandez & Sergio Romero Hernandez
授業内容	講義、リーディング、ビジネスケース、企業の講演者を組み合わせて、持続可能性戦略を体系的に評価し実行する方法を学ぶものである。理論やフレームワーク、ツールを使って、環境や社会的課題からビジネス価値を創造する機会を見つけ、持続可能性の取り組みに関連する競争の影響を評価する方法を教える。持続可能な発展戦略と財務的健全性を同時に促進するための長期戦略や、これら二つの目的の間でどのようにトレードオフを行うべきか、そして「持続可能性」が「良いビジネス」となるのはいつかを考察する。
試験・課題等	(1) 試験: 期末試験のみであり、出題形式は多肢選択式と記述式の両方であった。問題数が多く、しっかりと勉強しなければ解答するのが難しいレベルだった。 (2) 課題: 時々出された。エッセイ 1 つ(4 つの質問に答える形式)と、シミュレーションゲームの最終プレゼンテーションがあった。
感想を自由記入	(1) 全般的な感想: 環境や社会的課題に対する企業の取り組みが、単に「良いことをする」だけでなく、財務的な利益にも直結するという視点が非常に興味深かった。特に、持続可能な発展と財務的健全性の両立をどのように戦略として設定するか、また、その間のトレードオフをどう判断するかという問いかけは、現代のビジネスリーダーにとって重要な課題だと思う。 (2) 授業中の雰囲気: 6 人の少人数の授業だった。昨年はこのように少なくなかったが、他の人気授業と時間帯が被ったのが原因だと思った。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Project Management	プロジェクトマネジメント
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	2024年5月20日～6月28日
単位数	2単位
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Omar Romero-Hernandez & Sergio Romero Hernandez
授業内容	プロジェクトを成功させるための計画・管理スキルを体系的に学べる点が非常に実践的であると感じた。プロジェクト定義や選定、リソース見積もり、スケジュール管理など、実務に直結する知識を習得できるのが魅力だ。特にWBSやCPM、Ganttチャートといったツールを活用し、リソース制約下で効率的に進行を管理するスキルが養われる点が重要だと思った。
試験・課題等	(1)課題と試験は、主に4つに分けられる。リーディング、シミュレーションゲーム、グループ課題およびプレゼンテーション、そして期末試験である。リーディングは授業に関連する資料を事前に読んでおくものだったが、特に確認が行われたり、授業で詳しく扱われることはなかった。シミュレーションゲームは、授業中に購入したシミュレーションパックに含まれるシナリオをいくつか練習し、そのうちの 하나가評価対象となる形式だった。 (2)グループ課題およびプレゼンテーションでは、グループごとにテーマを設定し、そのプロトタイプを具体的に設計して発表を行った。もともと中間試験も予定されていたが、最終的には中止となった。期末試験は最終日に持ち込み禁止で実施され、パソコンを使用して行われた。試験内容は、少数の選択問題に加え、記述問題が多くを占めていた。
感想を自由記入	Business and Sustainabilityと同じ先生たちだったので、より気軽に質問をしたり、お話ができる。そして、個人的にはプロジェクトマネジメントほうが難しかったため、学んだ概念をしっかり復習した。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Negotiation and Conflict Resolution	ネゴシエーション
科目設置学部・研究科	UGBA
履修期間	2024年7月1日～8月5日
単位数	3単位
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が3回
担当教授	Timothy M Dayonot
授業内容	さまざまな状況で行われる交渉の理論とプロセスを理解することである。管理者や専門家が直面する幅広い交渉問題に関連する内容が提供される。個人、グループ、組織の行動を競争的状況の中で分析し、実践的な分析フレームワーク(例:シミュレーション、ケーススタディ)を用いて交渉スキルを体験的に身につける形式だった。
試験・課題等	(1)中間試験のみ。教室内で紙に記述形式(選択問題はあまりなかった)。期末試験はレポートで評価された。 (2)課題は Negotiation の実習がある前に Prep Sheet を書いたり、実習後に Reflection を書いたりなど2ページぐらいのレポート
感想を自由記入	ネゴシエーションは以前から身につけたかったスキルであり、この授業を選んだ。教授はとても優しく、授業中の冗談も面白かった。授業はシラバスに沿ってしっかり進められ、交渉の準備や実施時に考慮すべき点が教えられた。授業の後半には学生同士で実習が行われるが、英会話が苦手な人には少し苦痛かもしれない。学生たちの話し方は速いため、会話が苦手な方は、事前に交渉やビジネスで使われる英語フレーズを覚えておくと良い。とはいえ、非常に実用的な授業だと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Prototyping & Fabrication	プロトタイピング & ファブリケーション
科目設置学部・研究科	DESINV
履修期間	2024年6月17日～8月9日
単位数	3単位
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実習形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が2回
担当教授	Christopher Myers
授業内容	物理的なオブジェクトをデザイン、プロトタイプ、製作するために必要な概念、スキル、方法を教える。毎週、2D および 3D モデリングと製作に関連する技術や基本的な電子回路について学んだ。最初には Laser Cut を学び、wood を切ったり、組み立ていて enclosure box と指輪を作った。その後、3D printer を使って同じものを作り、各もののメリットとデメリットなどを比較した。
試験・課題等	毎回1つの提出物を提出しないとイケなかったが、7月中旬からは最後のプロジェクトに集中するため、その時まで作った部品や部分を提出した。最終的には、自分が作った車の写真と説明などを提出する課題があった。
感想を自由記入	<p>(1)全般的な感想: デザインに興味があり、この授業を選択した。しかし、デザインだけではなく、正確な測定や少しのプログラミングも使った。個人的には、プロジェクト一個一個に時間がすごくかかったため、他の授業との両立が難しかった。火、木だけ授業があるが、ほぼ毎回提出しないとイケない課題があったため、月、水、金に授業が終わったら studio に行って作業をした。先生は、いつも less design is good design という話を話したため、それを意識して飾りや複雑なデザインは避けようとした。最後のプロジェクトは、自分のデザインで車を作っているんな障害物を登ったり、避けないとイケなかった。授業の最後の日(8/9)の次の日(8/10)にみんなの前で presentation する workshop があったが、日程上参加できなかった。</p> <p>(2)授業中の雰囲気: デザイン(ファッション、産業など)やエンジニアリング専攻の学生が多かった。しかし、毎年ビジネスや他の選考の学生も多かったと言われた。先生の授業を受けた過去の生徒たちはみんな Apple, SpaceX, Tesla などに就職して活躍している。そのため、プロジェクトの質の差がすごかったが、頑張ればいい評価をいただけた。</p>



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等	
マイナビ、OneCarrer、外資就活、キャリアス、ビズリーチなど	
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
内定先は広告制作会社です。この企業を選んだ理由は、大学での経験やインターンシップで培ったスキルを活かしながら、クリエイティブな環境で成長できると感じたからです。また、社内の雰囲気が自分に合っていると感じたことも大きな要因です。留学中もオンラインで面接を受け続け、10月には内定式に参加する予定です。	
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
就職活動中は、留学と並行して進めるのが大変でしたが、早い段階での準備と計画が重要だと感じました。留学中でも就職活動を進めるため、常にインターネット環境を整え、スケジュールをしっかりと管理することが大切です。特に、留学中に得た経験は面接で大きな強みになるので、日々の活動や学びをしっかりと記録しておくことをお勧めします。	
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
-	
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
-	
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	
-	

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	-
	4月～7月	-
	8月～9月	就職活動
	10月～12月	10月: 応募書類を作成・提出 / 12月: 学内選考結果発表、飛行機購入
留学開始年	1月～3月	1～2月: 就職活動 / 3月: ビザ申請・受領、寮の申請。
	4月～7月	4月: 旅行保険申請 / 5月: 渡米、1回の旅行 / 6月: 3回の旅行、期末試験 / 7月: 中間試験
	8月～9月	8月: 期末試験、最終課題、3回の旅行、帰国
	10月～12月	-
留学/帰国年	1月～3月	-
	4月～7月	-
	8月～9月	-
	10月～12月	-

## 留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

### (1) 留学先国を選んだ理由

普段から海外旅行が好きで、以前にも留学経験があるが、英語を使う国での留学生活は経験したことがなかった。異文化の中で生活しながら視野を広げ、英語力を伸ばしたいと思い、交換プログラムに応募した。特にアメリカを選んだ理由は、世界のトップ企業が集まる場所であり、世界の中心ともいえる存在だからだ。また、アメリカの授業方式に触れ、私の大学では提供されていない UX/UI デザインや 3D プリンティング関連の授業を受けてみたいという気持ちもあった。

### (2) 大学を選んだ理由

UC バークレーは、米国内でも特に学問への情熱が高いことで知られているためだった。

### (3) 留学生活全般

私が受講した経営大学(Haas School of Business)の授業は、学生たちの参加度が非常に高く、活気にあふれていました。留学を通して感じたことは、大きく二つあります。まず、4 年生として留学を決断したとき、「就職活動」という大きな不安が常に頭にありました。しかし、学生時代にしか経験できない貴重な機会だと思い、留学を選びました。特に、両親を説得して多額の留学費用を支援してもらったことが最初の課題でした。もう一つは、就職活動と留学準備を同時に進める難しさです。すべてを一人で行うのは大変でしたが、自主的に行動することで、なんとかうまく対処できたと思います。

### (4) 留学生活の苦労

一番苦労したのは、現地のご飯や治安、そして環境の清潔さだった。異文化の中で生活することは、慣れるまで時間がかかることも多いが、すべてが新しい経験として自分を成長させてくれた。

### (5) 学業よりも大切な経験

留学中は、単位や勉強よりも友達や現地での経験を重視した。現地の SUP(スタンドアップパドルボード)、カヤック、ハイキング、マラソンなど、さまざまなアクティビティに積極的に参加した。新しい環境で多くのことを挑戦し、たくさんの思い出を作ることができた。常に「やりたいことがあれば挑戦する」という姿勢を大切にしていたので、できるだけ多くの経験を目指した。

### (6) アドバイス: 目標設定の大切さ

留学前には、自分の留学の目的を明確にし、常にその目標に向かって努力することを強くお勧めする。目的意識を持って留学に臨むことで、留学後の自分にとっても有意義な経験になると思う。このように、留学は多くの困難や挑戦があったが、その中で得られるものは非常に大きい。自分の留学の目的をしっかりと持ち、多くのことに挑戦しながら、有意義な留学生活を送ってください。